

定期点検表

No.	時期 項目		アワメータ表示時間																それ以後	参照 ページ
			50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750	800		
1	燃料	水抜き	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50 時間ごと	95
2	ウォータセパレータ	水抜き	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50 時間ごと	95
3	バッテリー液	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50 時間ごと	95
4	旋回ベアリング歯面	給脂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50 時間ごと	97
5	クローラ	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50 時間ごと	97
6	ファンベルト	点検 調整				○				○							○	200 時間ごと	97	
7	エアクリーナエレメント	掃除 点検				○				○								○	200 時間ごと	98
		交換																	1000 時間ごと または 1 年ごと	103
8	旋回ベアリングボール部	給脂				○				○							○	200 時間ごと	98	
9	ラジエータホースとバンド	点検				○				○								○	200 時間ごと	98
		交換																	2 年ごとまたは 4000 時間ごと	105
10	燃料ホースとバンド	点検				○				○							○	200 時間ごと	99	
		交換																	2 年ごとまたは 4000 時間ごと	105
11	吸気ホースとバンド	点検				○				○							○	200 時間ごと	99	
		交換																	2 年ごとまたは 4000 時間ごと	105
12	パイロットバルブ	給脂					○										○	250 時間ごと	98	
13	燃料フィルタカートリッジ	交換																500 時間ごと	100	
14	走行モータオイル	交換		◎ ^{*1}													○	500 時間ごと	100	
15	エンジンオイル (CF-4 級) ^{*2}	交換															○	500 時間ごとまたは 1 年ごと	100	
16	エンジンオイルフィルタ カートリッジ	交換															○	500 時間ごとまたは 1 年ごと	101	
17	作動油リターンフィルタ ^{*3}	交換					◎ ^{*1}										○	500 時間ごと	101	
18	エンジンバルブクリアランス	点検															○	800 時間ごと	102	
19	作動油 ^{*3}	交換																1000 時間ごと	102	
20	作動油サクシジョンフィルタ	交換																1000 時間ごと	102	
21	油圧パイロットラインフィルタ	洗浄																1000 時間ごと	103	
22	エンジン燃料ノズル先端	点検																1500 時間ごと	103	
23	トラックローラ、フロント アイドラ	油脂 交換																2000 時間ごと	103	
24	オルタネータ、セルモータ	点検																2000 時間ごと	103	
25	燃料噴射ポンプ	点検																3000 時間ごと	103	
26	電気配線	点検																1 年ごと	104	
27	排気マニホールド (亀裂、 ガス漏れ、および取付ネジ)	点検																1 年ごと	104	
28	吸気ラインの空気漏れ	点検																1 年ごと	104	
29	冷却水	交換																2 年ごと	104	

(次へ続く)

No.	項目	時期	アワメータ表示時間															それ以後	参照 ページ	
			50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700	750			800
30	油圧ホース	交換																	2年ごとまたは 4000時間ごと	106

*1 ◎は初回のみ実施してください。

*2 エンジンオイルは運転により少しずつ消費されますので、しだいに減っていきます。また、作業内容やエンジンの違いなどにより消費量は異なります。使用前に必ずオイル量がオイルゲージ上下限内にあることを確認の上、オイル補給などのメンテナンスを実施してください。エンジンの寿命を短くしたり焼き付いたりする危険性を避けるため、クボタ指定オイルとクボタ純正オイルフィルタを使用し、指定された交換時間を守ってください。

*3 ブレーカなどの油圧アタッチメントを使用する場合は交換時間が短くなります。(詳細は作動油リターンフィルタの交換 (101 ページ) の項を参照してください。)